



平成 30 年 6 月 21 日  
佐賀大学理工学部

## 佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施

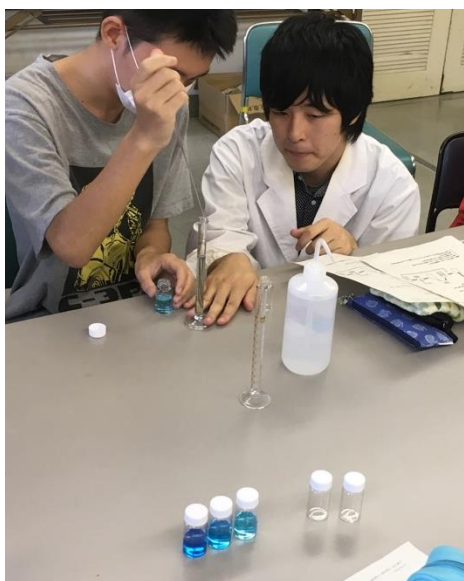
### 【概要】

佐賀市旧青少年センターの一室にある不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて理工学部の教員と循環物質化学専攻大学院生らが本年度 2 回目の理科実験教室を実施しました。

### 【本文】

理科実験教室支援活動は、佐賀市教育委員会の不登校支援機関である適応指導教室「くすの実」の要請により、理科への興味をきっかけに子供達の就学意欲を惹起することを目的に平成 17 年から行なっています。

本年度第 2 回目の理科実験教室は、平成 30 年 6 月 15 日(金)に循環物質化学専攻の大学院生、機能物質化学科の大学 4 年生が理工学部機能物質化学科 長田 聡史 准教授とともに「浄水器のしくみを調べてみよう」と題して活性炭による吸着実験を行いました。最初に色素で着色した水溶液 20mL を 10mg の活性炭処理でどの程度色素を吸着できるかを比色実験で調べました。次に 100mg の活性炭処理で透明な水になる様子を見て子供達は感嘆をあげていました。大学院生らは活性炭による吸着の原理を子供達にわかるように説明しました。



「理科実験教室」の様子（左：比色溶液作成，右：活性炭処理）